

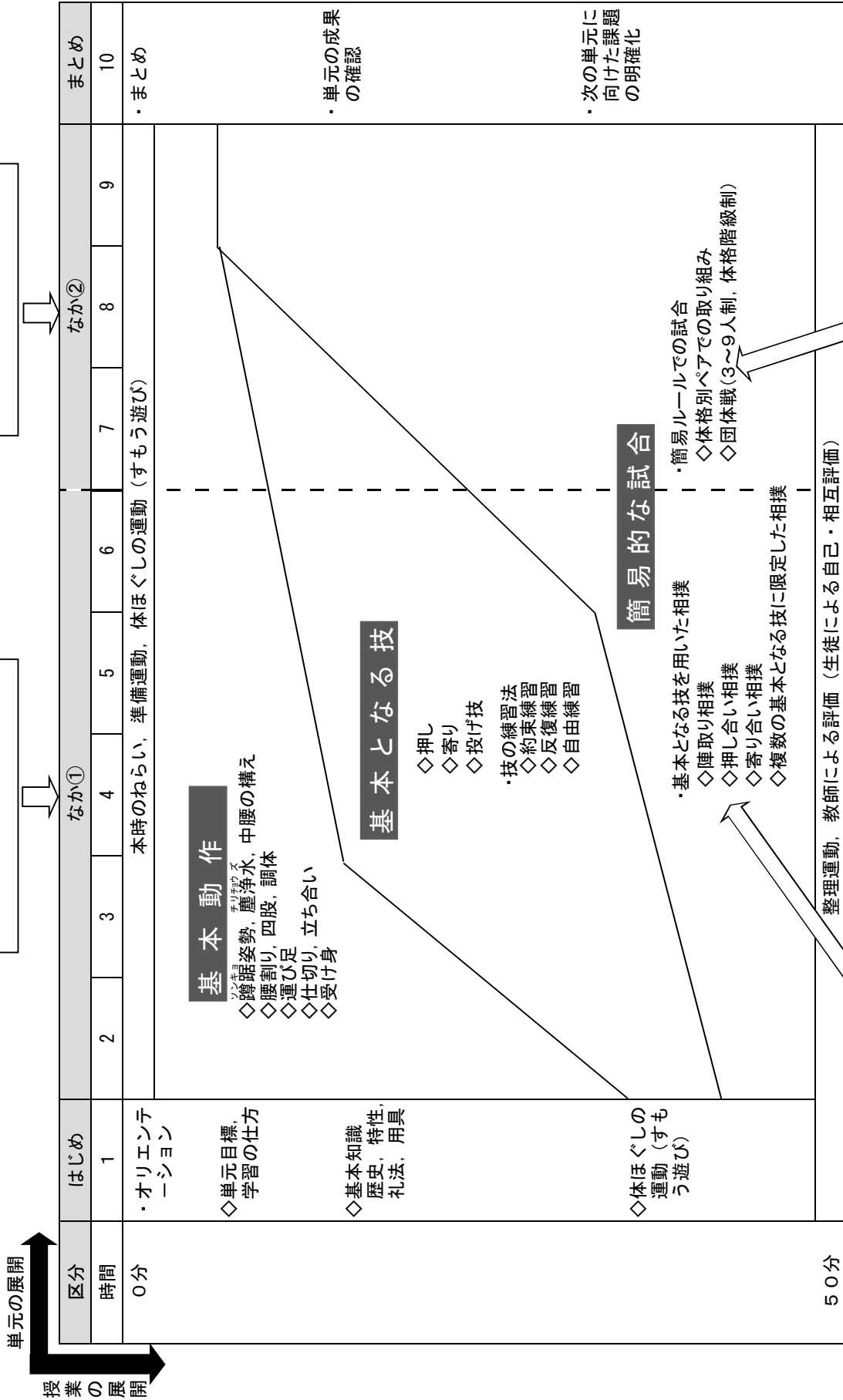
# 学習指導案

1. 単元計画図（1～3学年）
2. 単元計画
3. 評価規準
4. 指導と評価の計画（1～3学年）
5. 第1学年 指導時案（10時間分）
6. 第2学年 指導時案（10時間分）
7. 第3学年 指導時案（10時間分）

# 単元計画図（中学校第1学年）

教師が主導で、生徒が基本動作と基本となる技を学ぶとともに、自ら考え、協力して活動する場面を設定する。

生徒が、技の学び方を身に付け、計画的に学習できる基礎を作る。



基本となる技を学ぶことができ、るように工夫する。

既習技を用いて、試合を経験する中で、相撲の楽しさを学ぶことができるように配慮する。

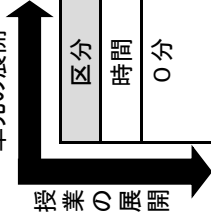
# 単元計画図（中学校第2学年）

※関連技術  
相手の動きに応じながら、技を有効にするための諸技術  
●押しの関連技術  
●低い姿勢から押し上げる。脇をしめる。背中を丸める。  
●寄りの関連技術  
●下手は深く取り、上手は浅く取る。差した側の腕を返す。下手側に寄る。吊り寄り。がぶり寄り。  
●出し投げの関連技術  
●前へ出て相手に圧力をかけてから投げる。相手が踏ん張ったところで体を開いてを投げる。投げをうった後、さらに前へ出る。

生徒が、技の習得方法を身に付け、自ら計画的に学習できるようにする。

生徒が、技の学び方を身に付け、計画的に学習できる基礎を作る。

単元の展開

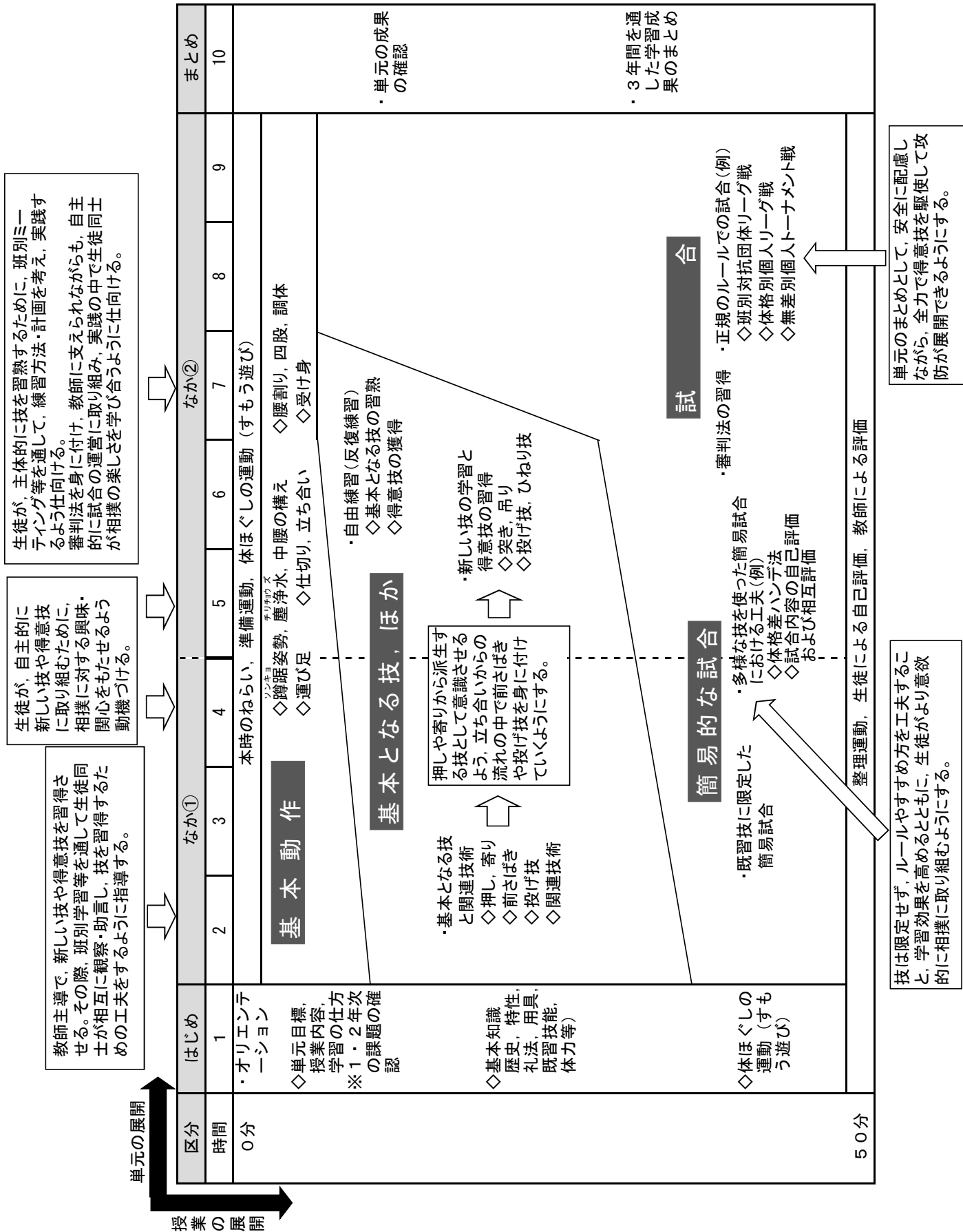


区分	なか①			なか②				まとめ		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
時間	0分									
はじめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●オリエンテーション</li> <li>◇単元目標、学習の仕方</li> <li>◇基本知識の確認、歴史、特性、礼法、用具</li> </ul>									
基本動作	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇蹲踞姿勢、塵浄水、中腰の構え</li> <li>◇腰割り、四股、調体</li> <li>◇運び足</li> <li>◇仕切り、立ち合い</li> <li>◇受け身</li> </ul>									
基本となる技	<p>基本となる技とその関連技術※</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇押しとその関連技術</li> <li>◇寄りとその関連技術</li> <li>◇前さばき</li> <li>◇投げ技とその関連技術</li> </ul>									
簡易的な試合	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本となる技を用いた相撲                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◇押し合い相撲</li> <li>◇寄り合い相撲</li> <li>◇複数の基本技を限定した相撲</li> </ul> </li> <li>●簡易ルールでの試合(例)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>◇個人戦(リーグ戦・トーナメント戦)</li> <li>◇体格別個人戦(リーグ戦・トーナメント戦)</li> <li>◇団体戦(3~9人制)</li> <li>◇体格階級制団体戦(3~9人制)</li> </ul> </li> </ul>									
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>●単元の成果の確認</li> <li>●3年次の単元の内容紹介</li> </ul>									
50分	<p>整理運動、教師による評価（生徒による自己・相互評価）</p>									

既習技を用いて、異なる形式での試合を経験する中で、自ら相撲を楽しむことができるようにする。

基本となる技を確認しながら、相撲を楽しむことができるようにする。

# 単元計画図（中学校第3学年）



## 単元計画Ⅰ

- 1 領域 「武道」
- 2 単元 「相撲」
- 3 対象 中学校第1学年
- 4 授業時数 10単位時間
- 5 単元目標 (学習のねらい)

### (1) 技能

- 基本動作や基本となる技（押し，寄り）ができる。
- 基本動作や基本となる技を用いて，押したり寄ったりするなどの攻防を展開できる。

### (2) 態度

- 楽しさや喜びを味わいながら，相撲に積極的に取り組もうとすることができる。
- 相撲の伝統的な行動の仕方を守ろうとすることができる。
- 分担した役割を果たそうとすることができる。

### (3) 知識，思考・判断

- 相撲の特性や成り立ち，技の名称・方法などを理解する。
- 課題に応じて運動の取り組み方を工夫できる。

## 単元計画Ⅱ

- 1 領域 「武道」
- 2 単元 「相撲」
- 3 対象 中学校第2学年
- 4 授業時数 10単位時間
- 5 単元目標 (学習のねらい)

### (1) 技能

- 基本動作や基本となる技（押し，寄り，前さばき，投げ技）ができる。
- 基本動作と基本となる技を用いて，相手の動きに応じながら，押したり寄ったりするなどの攻防を展開できる。

### (2) 態度

- 楽しさや喜びを味わいながら，相撲に積極的に取り組もうとすることができる。
- 相撲の伝統的な行動の仕方を守り，相手を尊重しようとするすることができる。
- 禁止事項を行わないようにするなど，健康・安全に気を配ることができる。
- 仲間の学習を援助しようとするすることができる。

### (3) 知識，思考・判断

- 武道の伝統的な考え方，技の名称や行い方，関連して高まる体力などを理解する。
- 課題に応じて学習活動の取り組み方を工夫できる。

### 単元計画Ⅲ

- 1 領 域 「武道」
- 2 単 元 「相撲」
- 3 対 象 中学校第3学年
- 4 授業時数 10単位時間
- 5 単元目標 (学習のねらい)

#### (1) 技能

- 得意技を身に付ける。
- 基本動作と基本となる技ならびに得意技を用いて、相手の動きの変化に応じながら、押したり寄ったり崩したりするなどの攻防を展開できる。

#### (2) 態度

- 勝敗を競う楽しさや喜びを味わいながら、相撲に自主的に取り組もうとすることができる。
- 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとすることができる。
- 互いに助け合い教え合おうとすることができる。
- 自己の責任を果たそうとすることができる。
- 健康・安全を確保することができる。

#### (3) 知識, 思考・理解

- 伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解する。
- 自己やグループの課題に応じて、学習活動の取り組み方を工夫できる。